

学びに "プラス1" ～日本地図を教室に常掲して活用する～



突然ですが、小学校において、**47 都道府県**の名称と位置は、**いつまで**に身に付けさせたらよいのでしょうか？

『小学校学習指導要領解説 社会編』第4章2各学年にわたる内容の取扱いと指導上の配慮事項に、その答えがあります。

小学校修了までに、我が国の47都道府県の名称と位置を確実に身に付け、活用できるようにすることが大切である。（下線は筆者）

そして、そのために、下に示した**各学年の指導場面において、地図や統計資料などを効果的に活用し、我が国の都道府県の名称と位置を身に付けさせることができるように工夫して指導する**ことを求めています。

《各学年における指導場面》

【第3学年及び第4学年】では

地域の人々の生産や販売についての学習の中で

【第5学年】では

農業や水産業、工業の盛んな地域や運輸の働き、我が国の位置と領土、地形や気候の概要などについての学習の中で

【第6学年】では

歴史学習において、様々な都道府県の名前が登場してくる学習の中で

また、上記の指導場面においては、「**その都度、その都道府県の位置を地図帳の日本地図で確認したり、日本地図（白地図）に整理したりすることが大切である。**」とし、併せて、次のことを示しています。

日本の都道府県を表す地図を教室に常掲し活用するなど、教室環境を工夫することも効果的である。（下線は筆者）



そこで、今回の**"プラス1"**は、日本地図を教室に常掲し、それを活用して都道府県の名称や位置について指導する二つの実践例を紹介します。

〈日本地図の活用 その1〉国内ニュースに登場する都道府県を確認させる。

小学生にとって、47 都道府県の名称と位置を一度に覚えるのは、容易なことではありません。したがって、社会科の授業だけでなく、**学校生活のあらゆる場面において、「日常的に」、「繰り返し」指導していくことが大切です。**

例えば、学級朝の会等の時間において、下の例のように、**テレビや新聞等の国内ニュースを話題にし、その出来事があった都道府県の位置を教室に常掲してある日本地図で確認**させます。

〈例〉 テレビのニュースで、北陸新幹線が、石川県の金沢市まで開通したことを伝えていました。

石川県がどこにあるか分かりますか？

日本地図で確認してみましょう！

（教室に常掲してある日本地図で確認）



このような日常における指導により、都道府県の名称や位置についてはもちろんのこと、子どもたちに、広く社会の出来事にも関心をもたせることができます。

〈日本地図の活用 その2〉歴史学習に登場する都道府県を確認させる。

地理学習だけでなく、歴史学習でも地図は大切です。**歴史上の出来事が起こった地名や人物の出身地がどこにあるのかを地図で確認することは、歴史的事象を空間的な広がりの中でとらえさせる上で大切な学習活動**です。

小学6年「元との戦い」の事例をもとに、歴史学習で「どのように日本地図を活用したらよいか」について紹介していきます。

『小学校学習指導要領解説 社会編』に、次のことが記されています。

「元との戦い」について調べるとは、例えば、北条時宗が全国の武士を動員して元の攻撃を退けたことなどを取り上げて調べ、幕府が全国的に力をもってきたことが分かるようにすることである。（下線は筆者）

上記のねらいを達成するためには、日本地図の活用が必要です。なぜならば、「全国」という空間的な広がりや、具体的な事象をもとに認知させなければならないからです。

「元との戦い」の授業では、多くの先生が「蒙古襲来絵詞」を中心資料として扱います。教科書に載っている、馬に乗った鎌倉幕府の御家人・竹崎季長が、集団戦法の元軍と戦う様子を描いた有名な一場面です。この資料を読み取らせる際に、日本地図を活用します。

〈博多（福岡県）と鎌倉（神奈川県）の位置を日本地図で確認させる〉

まず初めに、「元との戦い」の舞台となった博多（福岡県）と幕府のある鎌倉（神奈川県）の位置を日本地図で確認させます。

子どもたちは、戦地となった博多と幕府のある鎌倉の距離が随分離れていることに気付きます。（青の矢印）



〈宇城市（熊本県）の位置を日本地図で確認させる〉

次に、竹崎季長の地元、宇城市（熊本県）の位置を日本地図で確認させます。そして、竹崎季長が、わずかの家来を引き連れて、博多にすぐに駆けつけたことを説明します。（赤の短い矢印）

このことから、子どもたちは、鎌倉幕府の力が九州にまで及んでいたことに気付くでしょう。（赤の破線矢印）

また、元との戦いの翌年、恩賞をもらえなかった季長が、遠く鎌倉まで出かけ、恩賞奉行の安達泰盛に陳情したという事実から「先懸の功」や「一所懸命」についての理解を深めることもできます。（赤の長い矢印）



このように、日本地図を活用することにより、「鎌倉幕府が全国的に力をもってきた」という**歴史的事象を、空間的な広がりの中でとらえさせることができる**とともに、**歴史上の出来事の舞台となった都道府県の名称と位置についても改めて確認することができます**。

教室に日本地図を常掲し活用することで、授業はもちろん、日常的に都道府県の名称と位置について確認させることが容易になります！

